

特別対談

ウィズコロナの時代、臨床美術はどう変化していくのか
また臨床美術士の役割とは—

臨床美術士を訪ねて 特別編

「現場で働く方々や臨床美術士を元気に」
目標は「アートで世界平和。笑いは健康を作る！」

定期総会報告

オンライン講座 ぞくぞく開講！

協会からのお知らせ



アートプログラム：「福牛」

ウィズコロナの時代、臨床美術は どう変化していくのか また臨床美術士の役割とは—



日本臨床美術協会
常任理事

蜂谷 和郎

芸術造形研究所
取締役

藤木 晃宏

藤木: 対面でのセッションが急にできなくなった状況で、多くの人はまず「このまま何もしないでいいのか」という気持ちになったと思うんです。その中で恐らく手探りで活動していると思うんですけど、一步踏み出すことに意味がある。もしかしたら今の混沌とした状況は、臨床美術が立ち上がった時に似ているかもしれないですね。

蜂谷: 全国の臨床美術士が、それぞれに試行錯誤しながら活動していることが重要だと思います。「こうしたらどうだろう?」という積み重ねが、臨床美術士としての力量や人間力を高めていくんじゃないでしょうか。自分で考えてやっている、その現象がすごくいいことですよね。現場はみんな違うし、人間ってみんな違うから。決まった答えなんてないんです。

藤木: ここ20年以上、臨床美術は「対面で行う」という基本的なスタイルが確立された中で実施してきたわけですよね。つまりオンラインで実施するというのは想定外。だから戸惑いがあると思うんですよ。でも、そもそも誰のために臨床美術が生まれたのかを考えると、答えは「参加者のため」。一番大事な、「参加者に表現する喜びを提供する」ことができれば、形は変化してもいいんじゃないかと。対面には対面の良さがあるし、オンラインだからこそ臨床美術に出会える人がいるというのも事実としてあると思います。

蜂谷: オンラインじゃないと受けられない人たちが確実にいて、その人たちにも門が開かれたんですよね。そうすると、本来の目的の「表現することの喜びを享受して、それを生きる糧にして、楽しく人生を過ごそうよ」という人が増えるじゃないですか。それが目的であって、オンラインとか対面というのは手段なんですよね。これからは、オンラインでも対応できるスキルを身に付けないといけない状況になってきていると思います。いずれ対面でもやれる時期が来るので、両方できるようになる良いチャンスですよね。

藤木: オンラインでは、より正確に伝える言葉やコミュニケーションの意識が大事なんですけど、その経験が対面のセッション

にも必ず生きてきます。いま、自分が望む形でできなくても、何らかの形で参加者とアートを通して繋がっていくことが求められていると思うんですよね。本当にシンプルなものでいいんです。紙一枚とオイルパステル、色鉛筆でもいい。「これならできそうだな」というものをやってみることによって、ささやかでもいいからその人が表現するためのきっかけを提供できればと。

蜂谷: 大人数に対してじゃなくていいですよ。一人の人をどれだけ楽しませることができるとか、その気になってもらえるか。それができれば私たちのモチベーションは上がります。もし誰かにできない場合は自分でいいと思う。5級の時にやったアナログ日記、これを毎日やったらすごいアウトプットになって整理ができる。一日に起きたこと、辛かったこと、楽しかったこと、苦しんだこと。体の中にあるものを外に出すいいきっかけになるから。自分のために描くだけでもいいので、まず誰か一人に楽しんでもらえることを考えてみよう。

藤木: まず自分が自分を喜ばす。自分が体験した「表現する喜び」を他の人にも伝えたいというのが臨床美術士だと思うんですよね。みなさんに伝えたいのは、形が変わっても何も変わらないものがあって、それは「一人ひとりと向き合う」ということ。臨床美術士が参加者一人ひとりと向き合う時間そのものが非常に大事だと。作り方を教えるのなら動画でもいいんだけど、作り方を教えているわけじゃないんですよね。そこは譲れないというか、変わらない。そうするとオンラインでも対面でもブレないはずなんですよね。だからより本質というか、臨床美術で大事なものを改めて考える良い機会なのではないでしょうか。

蜂谷: このような時こそ力を蓄える時だと思います。コロナの波が落ち着いた時にはさらに多くの人々に臨床美術が必要とされるはずですよ。気持ちを切らさず、ウィズコロナの時代を乗り切っていきましょう。

今回の「臨床美術士を訪ねて」は、特別編としてコロナ禍での活動の様子をご紹介します。現場はもとより、外出も制限される状況の中、臨床美術士同士のつながりを感じてもらいたい、また今後も続くであろう“ウイズコロナ”の生活における臨床美術を考えるきっかけになればと、全国の臨床美術士の活動や思いをFacebook「臨床美術ひろば」でご紹介してきました。今回は、その中からお二人の活動をご紹介します。

※本記事は、Facebookに掲載した内容をご本人の許可を得て再編集したものです。

「現場で働く方々や臨床美術士を元気に」

自粛が始まってから鳥取県で取り組んだこと



臨床美術士2級

「クリニカルアート鳥ト雲(とりとくも)」代表
井澤ゆうか さん
(鳥取県)



一人暮らしの参加者さんたちへ発送した作品

春からの新型コロナウイルスの流行にともない、鳥取県内の臨床美術講座の現場も自粛しました。その中で「現場(定期講座先)で働く方々や臨床美術士自身を元気に」を念頭に行ったことをご紹介します。

「クリニカルアート鳥ト雲」は、鳥取県と島根県の23名の臨床美術士で構成されています。県をまたぐ移動が制限されたこと、また、県内の現場が休止していること、「まずは臨床美術士自身を元気にしたい」そんな思いから自宅で楽しめるアートプログラムと画材を全会員に送りました。また、オンラインツールのZoomによる新しいアートプログラムの体験会や交流会など、会員同士とつながる場を設けました。

3月からは、感染予防のため全ての講座を休止しました。休止中の電話でのやりとりの中で、高齢者施設の現場から「自分たち職員に何かできることはないか」という要望をいただきました。そこで、職員の方がご利用者様に実施できるアートプログラムを発送しました。その後、実施した報告や、それを受けた細かなアドバイスをLINEで伝え合い、ご利用者様の自己表現の場を継続して設けることができました。また、仲間の臨床美術士とともに社会福祉協議会と連携し、フレームに入れた作品と手紙を、一人暮らしをされているご高齢の方のご自宅へ届けました。より一層自宅に籠もる生活を強いられる中で「状況が落ち着いたらまたみんなに会えますね」という希望をお届けしたいという気持ちからでした。4月後半からは各現場が落ち着いてきました。そのタイミングでZoomを通したオンラインでのアート講座も再開し、2ヶ所の高齢者施設※では現在もオンラインで講座を行なっています。(※臨床美術士の資格を持っている現場の職員と連携しています。)10月現在は、感染予防を徹底し、人数制限を設けながら、8割の現場が再開しています。

「どんな状況下でも言葉やアートで気持ちを表現できる場があって良かった」「人とのつながりがより強くなった」「こんな時だからこそ自分に目を向け大事にする習慣ができた」この数ヶ月間で心温まる感想をたくさんいただきました。

これから世界中が新しい生活様式に変わっていきます。これまでのコロナ禍を振り返ると、LINEやZoomなどのオンラインツールが現場をつなぐ大切な役割を担ってくれていました。意識の向け方で、とても効果的に活用できるのだと実感できました。今後もIT環境の特性を良く知り、臨床美術の現場に効果的に生かしていきたいと思います。



会員たちと実施したオンラインプログラム体験会
(Zoomのスクリーンショット)

目標は「アートで世界平和。笑いは健康を作る！」

これからも笑顔の絶えない臨床美術の時間を作っていきたい



臨床美術士3級

真栄田 寿賀子 さん
(沖縄県)

沖縄県で主に保育園や児童養護施設で活動をしています。子どもたちと臨床美術を楽しみながらコミュニケーションも大切にする時間を共有しています。

新型コロナウイルス感染症が広がり始めた頃は、大人数でのセッション時の感染予防対策や緊張事態宣言による急な休講など、思いもよらなかったことが起こり、沖縄の格言に「真(まこと)をすればなんくるないさ(なんとかなる)」がありますが、この感染症に関しては、真をしてもなんともならないような不安、先の見通しが立たない不安感でいっぱいでした。

しかし、いつまでも不安に飲み込まれては無意味なこと、空いた時間はアートプログラムの復習や画材の棚卸しなどに使っていました。幸い、私が受け持っている保育園では6月からアート教室を再開することができ、アートを心待ちにしていた子どもたちともようやく会うことができました。

実施の際は感染予防対策としてセッションの環境を少し変化させました。まず大きな変化は臨床美術士のマスク着用です。臨床美術の特徴の一つに、参加者とのコミュニケーションがあると思います。セッション中の会話はもちろんですが、何よりも笑顔は大切だと思っています。なぜかと言うと臨床美術士養成講座修了考査の時に先生方から特に注意を受けたのが笑顔だったからです。考査時にかなり強張った表情でセッションをしていたようで「おもしろくなくても笑いなさい。自分が笑わずに参加者が笑えるわけがない」との厳しいご指摘をいただき、それ以来、笑顔を初心として心がけています。

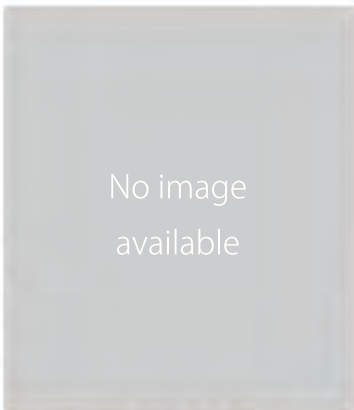
しかしマスク着用では笑顔を見せたいのに口元が見えない、それに加えて声も聞こえづらく感じました。初めてのマスク着用でのセッション時は、声は聞こえるのか、怖そうに見えないかと心配で、子どもたちの反応を見ながらできるだけゆっくりと大きな声で話し、笑顔は笑い声に変え、目や身体の動きを大きくしたりして、プロセスが円滑に進んでいるか？

コミュニケーションは取れているか？を探りながら実施しました。サブスタッフのフォローもあって終了後の子どもたち

から「やっぱりアートは楽しかった！」と感想をもらいました。他には席を「コの字形」に配置したり、制作時間を短縮したり、画材の共有をしないなど、健康を維持できるような環境を模索しながら実施しています。

今回のことがきっかけで、握手から始まっていた臨床美術が、画面越しのオンライン講座を実施したり、今までにない変化に驚くこともありますが、臨床美術が制作作品に完成を求めないように、臨床美術や臨床美術士も今、何がベストなのかにフォーカスして、目まぐるしい変化に寄り添えるしなやかな感覚で進化し続けていくのではないかと思います。

私自身の現場ではオンライン講座の実施が難しい環境のため、これからどうなっていくのかわかりませんが、目標は変わらず「アートで世界平和。笑いは健康を作る！」これからも笑顔の絶えない臨床美術の時間を作っていきたいです。



No image
available

Facebook「臨床美術ひろば」では、紙面では掲載できなかったたくさんの臨床美術士のコロナ禍の活動や取り組みをご紹介します。Facebook アカウントを持っていないでも見ることができますので、右のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただくか、「臨床美術ひろば」で検索してぜひご覧ください。 www.facebook.com/rinshoubijutsu/



2020年度 定期総会報告

6月14日に2020年度定期総会を開催いたしました。6月15日時点において議決権総数は2235名で、本人出席27名、委任状による出席968名の合計995名で、定款27条に定める定足数3分の1以上を満たしたため、総会が成立したことをご報告いたします。

2019年度 事業報告(事業報告書)

1) 会員状況

	2018年度	2019年度	差異
資格認定会員	2416名	2452名	36名
5級	793名	761名	-32名
4級	1360名	1427名	67名
3級	228名	228名	0名
2級	21名	21名	0名
1級	14名	15名	1名
団体賛助会員	10団体	9団体	-1団体
指定校	6団体	5団体	-1団体
認定施設	4施設	4施設	0施設

2) 資格更新状況

	2018年度			2019年度		
	対象者	更新手続完了者	更新率	対象者	更新手続完了者	更新率
資格認定会員	252名	191名	76%	216名	172名	80%
5級	40名	18名	45%	45名	27名	60%
4級	188名	151名	80%	158名	134名	85%
3級	23名	21名	91%	12名	10名	83%
2級	1名	1名	100%	1名	1名	100%

3) 認定施設・登録団体・指定校・アートサポーター・アート塾講師状況

	2018年度	2019年度	差異
認定施設	4施設	4施設	0施設
登録団体	15団体	16団体	1団体
指定校	6校	5校	-1校
アートサポーター(累計)	375名	395名	20名
アート塾講師(累計)	47名	51名	4名

4) 臨床美術の普及活動

- 第11回臨床美術学会大会—東京家政大学狭山キャンパスで実施(11月9日・10日) 参加人数160名
- 「認定施設」「臨床美術活動施設」の促進—「認定施設」4施設 「臨床美術活動施設」134施設
- 普及のための新たな企画の実施—いきがい大学全3日間開催(5月10日・14日・16日) 参加人数458名
- 指定校(団体賛助会員)への支援—計画に基づいた講座情報の発信や運営責任者との懇談を実施
- ホームページ、SNSでの情報発信—Facebook「臨床美術ひろば」を2019年7月に開設、資格認定会員の活動を紹介
- 活動実態調査の継続—資格認定会員に対して、WEBアンケートを2020年1月末に実施(1952名へ配信し、178名の回答) ※結果はホームページで公開中

5) 臨床美術士の質の維持

- 資格更新制度の周知、運営
- 協会主催の研修会の実施 ※3月の開催分は新型コロナウイルス感染予防により2020年度へ延期いたしました。

内容	開催地	開催日	参加人数		
			2018年度	2019年度	差異
研修会	沖縄	6月1日	14名	33名	19名
	愛知	6月8日	16名	13名	-3名
	福岡	7月21日	35名	11名	-24名
		7月7日	23名	29名	6名
	北海道	9月22日	12名	12名	0名
		9月7日	13名	6名	-7名
	岐阜	10月6日	9名	9名	0名
	長野	10月19日	16名	8名	-8名
	香川	2月15日	18名	19名	1名
	兵庫	3月7日	34名	延期	
	小計		178名	140名	-38名

内容	開催地	開催日	参加人数		
			2018年度	2019年度	差異
特別講座	岡山	6月16日	0名	11名	11名
		2018年 富山 2019年 名古屋	11月16日	14名	14名
子どもの絵の見方ほめ方講座(蜂谷先生)	2018年 仙台 2019年 東京	3月1日	40名	延期	
	2018年 富山 2019年 名古屋	11月16日	16名	14名	-2名
臨床美術で子どもが変わった(元山先生)	2018年 仙台 2019年 東京	3月1日	36名	延期	
	東京	11月~3月	30名	30名	0名
実践カウンセリング講座II(関根一夫先生)	東京	2月9日	22名	14名	-8名
これだけは知っておこう! 著作権講座(赤司先生)	東京	3月22日	0名	延期	
放課後等デイサービスへの導入に向けて(元山先生)	東京	3月29日	0名	延期	
臨床美術女子美ゼミ(大倉先生)	東京	小計	158名	83名	-75名
小計			336名	223名	-113名

③ IT環境を使った遠隔講座の準備・実施(ネット用講座の制作)

6) 臨床美術士への活動支援

- 各地域での交流会の実施—岡山12名、北海道23名、福岡6名、京都5名、東京17名
- 臨床美術プロジェクトの継続(被災地支援、養護施設等での活動)
- 臨床美術士のキャリア支援、「臨床美術士ステーション」の周知、運用など
- 臨床美術士への情報提供の充実

2019年度 決算

科目	2019年度予算	2019年度決算	差異
経常収益計	47,750,182	43,489,716	-4,260,466
経常費用計	47,664,900	43,749,798	-3,915,102
当期経常増減額	85,282	-260,082	-345,364

●定款変更について

・第3章会員に再入会規定の追記

- 第11条 退会者および会員資格を喪失した者で再び入会しようとする者は、理事長が別に定める再入会申請書に記入の上、理事長に申し込むものとし、理事長はその者の再入会を承認することができる。
- 2 理事長は、必要に応じて前項に基づき入会しようとする者に対し、再入会の承認・不承認の判断のための資料等の提出を求めることができる。
- 3 前項により再入会を承認された者は、入会金および再入会が承認された日の属する年度の年会費を納めなければならない。

・常任理事会規定の追記および変更

第7章 常任理事会 第45条を第40条第2項へ移行

●大学生の優遇措置について

大学で設置している科目で単位を取得し、認定試験に合格した大学生で、入会を希望する学生には、入会金2,000円のみでの入会とし、年会費および認定試験料を免除する。在学中は、その後の年会費も免除する。

●役員報告

2020年4月1日より青木理栄理事が事務局長となりました。

2020年度 事業計画

1) 臨床美術の普及活動

- 新規入会者の促進
(養成講座開講日程を踏まえた計画的な広報活動および研修会・交流会の開催)
- 「認定施設」「臨床美術活動施設」の促進
- 臨床美術士のイベントへの参加促進と支援

2) 臨床美術士への支援

- 資格取得後に孤立させない仕組みづくり
- 計画的な交流会でのモチベーションアップ
- IT環境を使った講座の準備・実施(ネット用講座の制作)

2020年度 予算

科目	2019年度決算	2020年度予算	差異
経常収益計	43,489,716	36,895,400	-6,594,316
経常費用計	43,749,798	36,877,640	-6,872,158
当期経常増減額	-260,082	17,760	277,842

オンライン講座 ぞくぞく開講!

秋から冬にかけて、インターネット環境のあるご自宅やタブレットを持って好きな場所で、臨床美術について学び、考えませんか?

多くの会員の皆さまからご要望をいただいております、またコロナ禍で外出を控えている方が多い状況からも、オンラインで受講できる講座を開講いたします。ぜひご参加ください。

■日本臨床美術協会主催

《ご自宅で特別講座<オンライン講座>》

1	臨床美術で子どもが変わった ～学校での臨床美術士の位置づけと役割～		 元山清博先生	
	B日程	2021年1月17日(日)14:00～15:00		締切:2021年1月7日(木)
2	臨床美術の放課後等デイサービスへの導入に向けて ～就学している障がい児への発達支援～			
	C日程	2020年12月13日(日)14:00～15:00		締切:2020年12月3日(木)
	D日程	2021年1月31日(日)14:00～15:00		締切:2021年1月21日(木)
3	これだけは知っておこう! 著作権講座			 赤司修一先生 (弁護士)
	E日程	2020年11月22日(日)14:00～15:00	締切:2020年11月12日(木)	
	F日程	2021年1月24日(日)14:00～15:00	締切:2021年1月14日(木)	

お申込・お問合せ先

日本臨床美術協会事務局 TEL:050-6865-3701 FAX:050-3737-9007
E-mail: association@arttherapy.gr.jp

■芸術造形研究所主催

《臨床美術士養成講座》

5級取得コース	2021年1月期	金曜日クラス	(各全6日間)	締切:2020年12月24日(木)
		日曜日クラス		
4級取得コース	2021年1月期	木曜日クラス	(各全9日間)	締切:2020年12月10日(木)
		土曜日クラス		

《研修会》

プチ立体シリーズ研修会 No.1-8 (5級以上)	2020年11月26日(木)10:00～12:00	締切:2020年11月5日(木)
色鉛筆アートプログラム研修会 No.1-8 (5級以上)	2020年11月26日(木)14:00～16:00	締切:2020年11月5日(木)
CAC 研修会 No.13-15 (5級以上)	2020年12月3日(木)10:00～12:00	締切:2020年11月12日(木)
最新アートプログラム研修会②「軍手鳥」(4級以上)	2020年12月10日(木)10:00～12:00	締切:2020年11月19日(木)
ワークショッププログラム研修会 No.1-4 (5級以上)	2020年12月16日(水)14:00～16:00	締切:2020年11月25日(水)
色鉛筆アートプログラム研修会 No.17-24 (5級以上)	2020年12月19日(土)14:00～16:00	締切:2020年11月26日(木)

《新規講座》 ※本講座はオンラインのみの開講となります。

こころとからだをほぐす運動の基礎知識(講義編)

2020年12月3日(木)15:30～16:30

締切:2020年11月19日(木)

こころとからだをほぐす今・心体(ここから)エクササイズ(実技編)

2020年12月10日(木)15:30～17:00

締切:2020年11月19日(木)

お申込・お問合せ先

芸術造形研究所 TEL:03-5282-0210 FAX:03-5282-7307 E-mail: school@zoukei.co.jp

協会からのお知らせ

2021年度 年会費についてのご案内

2021年度の年会費について、以下をご確認の上、お支払いをお願いいたします。

年会費 11,000円 (消費税込み)

納入方法について

● 「口座自動引落とし」の 手続きがお済の方

2021年3月1日(月)に指定口座より引
落とし致しますので、事前にご指定口座
の残高のご確認をお願いいたします。

● 「口座自動引落とし」 以外の方

2021年3月1日(月)までに「コンビニ
エンスストア専用支払伝票」にて、店
頭レジにてお支払いください。
※支払伝票は、同封しております。

● 「口座自動引落とし」を 中止される方

2021年2月5日(金)までに協会事務
局に、メールもしくはFAXにてご連絡
をお願いいたします。

ご 連 絡 先 日本臨床美術協会 事務局 (受付時間 9:30 ~ 18:00)
E-mail : association@arttherapy.gr.jp / FAX : 050-3737-9007

※ 2021年度の新会員証は2021年4月上旬頃にお送りいたします。

資格更新期間延長について

新型コロナウイルスの影響で十分な活動ができないという多
くのご相談を頂いております。そのため、日本臨床美術協会
では、資格更新申請期限を下記の通り1年間延長することといた
します。

【対象】 2020年度資格認定会員全員

【内容】 資格更新期限を1年間延長

(例) 資格更新期限：2021年4月15日→2022年4月15日

(例) 資格更新期限：2025年8月15日→2026年8月15日

【資格更新日確認方法】

* 2021年度会員証に資格更新日を記載いたしますので、ご確認
ください。

* 既に2021年4月以降の資格更新申請書等をご提出頂いている
場合は、協会事務局で保管させていただきます。1年間延長した資
格更新日となりましたら、更新完了通知書と共に会員証を送付
させていただきます。また、資格更新申請書をご郵送して頂いた翌
日以降に取得した単位は次回更新分の単位となります。

郵便はがき



差出有効期間
2021年9月
30日まで
(切手不要)

251-8790

(受取人)

神奈川県藤沢市辻堂1-9-3
ShonanEminence 3階

特定非営利活動法人
日本臨床美術協会 行



キ
リ
ト
リ
線



特定非営利活動法人
日本臨床美術協会

